

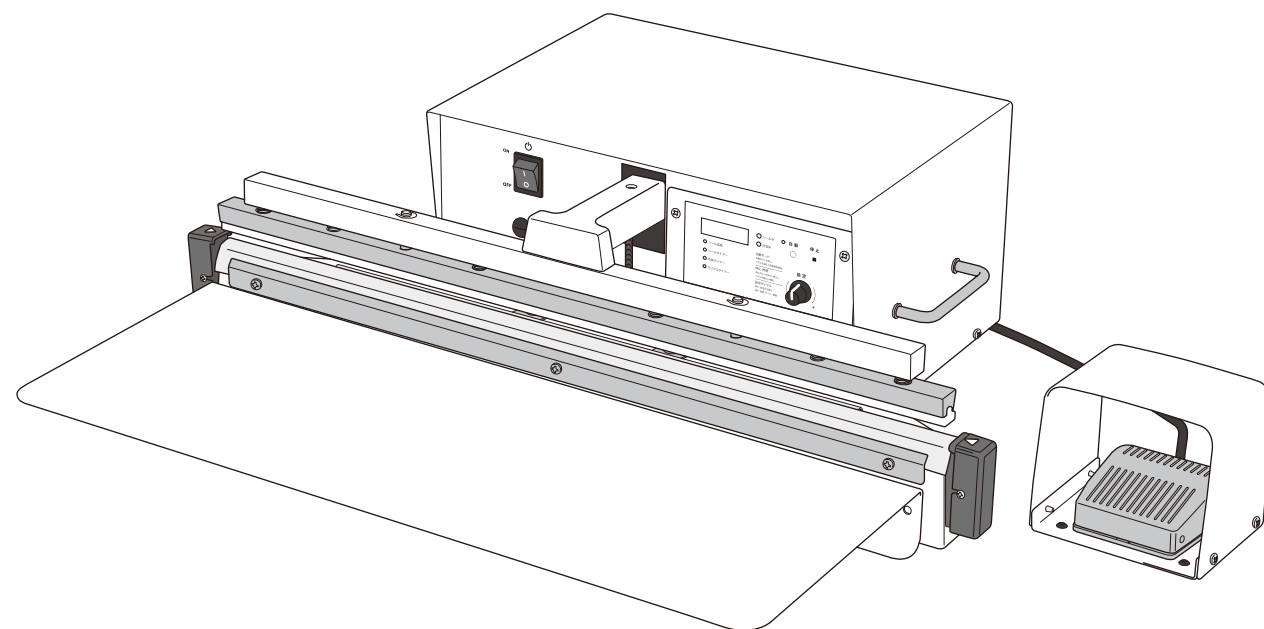
ワンランク上のシーラー

NL-453PA-5/453PA-10/603PA-5

オートシーラー

取扱説明書

このたびはオートシーラーをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。



- 01~03 安全上のご注意
- 04 各部の名称
- 05~06 ご使用方法
- 07~08 保守点検
- 09 故障かな?と思ったら
- 10 仕様
- 10 アフターサービスについて

株式会社 石崎電機製作所

本社

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013

大阪市西区新町1-25-7

TEL.06-6541-3893

公式ホームページwww.sure-ishizaki.co.jp

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。


警告


この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 ①は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。また改造はしない。
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

火薬・揮発性引火物、燃えやすい物のあるところでは使用しない。
爆発、発火の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
・コゲくさい臭いがする。
・電源コードやプラグが異常に熱い。



必ず行う

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。
感電の原因になります。



禁止

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート、感電の原因になります。



禁止

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと感電や発火の原因になります。



必ず行う

などの症状が出たら、すぐに販売店または「お客様相談センター」へ点検・修理を依頼してください。

100Vのコンセントを単独で使う。
他の器具と併用した分岐コンセントは発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

アース線をアース端子に接続し、アースを必ず取る。
感電事故の原因になります。



必ず行う

注意

本器に定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しない。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、誤作動、発火の原因になります。



必ず行う

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。
感電、やけどの原因になります。



禁止

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。
やけど、落下によるけがの原因になります。



禁止

使用中や使用直後はシール部に触れない。
シール部は高温のため、やけどの原因になります。



接触禁止

交流100V以外では使用しない。
火災、感電、故障の原因になります。
※本器は日本国内、AC100V専用です。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。
感電、ショート、故障の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。
コードの異常発熱や破損により発火、感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

圧着レバーとシール部の間に腕や指を挟まない。
やけど、けがの原因になります。



禁止

ヒーターやフッ素樹脂絶縁シートの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。
感電、やけどの原因になります。



プラグを抜く

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。
発火の原因になります。



禁止

安全上のご注意(その2)

お願い

シール作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い設定の確認をしてください。

シール温度、シール時間、冷却時間を調節して、溶着具合を確認してください。材質、厚さ、重ね枚数によってはシールできない場合もあります。

フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、シリコンゴムは傷んだまま使用しないでください。

ヒーターが断線したり、シールが不安定になりきれいにできなくなります。

傷んだヒーターは取り付けしないでください。

折れたり欠けたりしている場合は、本器の故障や断線などの原因になります。

ヒーター、フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。

ご使用前に必ず確認し、消耗している場合は新品と交換してください。

圧着レバーのシリコンゴム表面、シール面はつねに清潔にしてください。

ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるとききれいにシールができません。

連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。

内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。各部品の寿命も著しく低下しますので本体が冷めるまで休ませるようにしてください。

センサーを固定しているテープを交換する場合は弊社へ修理に出してください。

温度センサーの動作確認が必要となります。

必ず定期点検を実施してください。

使用頻度30,000~50,000回または1年に一度を目安としてください。

注意事項

使用開始前に必ず設置場所、本体各部の点検を行い、最後に通電テストをして、異常がない事を確認してください。万が一異状がある場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、又は弊社「お客様ご相談センター」にご連絡ください。

使用上のポイント

- シール温度、シール時間は、材質、厚さなどにより異なりますので、設定ダイヤルで調節してください。
- 冷却時間は、シール時間の2倍を目安に設定してください。
冷却時間が短いとシールがきれいに仕上がりにません。
- 本器シール面と圧着シリコンゴム表面は常にきれいな状態にしてください。
汚れているとシール面がきれいに仕上がりにません。
- 連続してシールをしていると、余熱が加わりシールが不安定になることがあります。
シール状態を確認し、シール温度を低く、シール時間を短く調整していただくときれいなシール状態を維持できます。

注意 ヒーターは各機種に合わせた専用設計になっていますので、入れ替えての使用はできません。巻末の交換用サブライ品の表に従い、メンテナンス時の交換の際は、適切な部品をご使用ください。

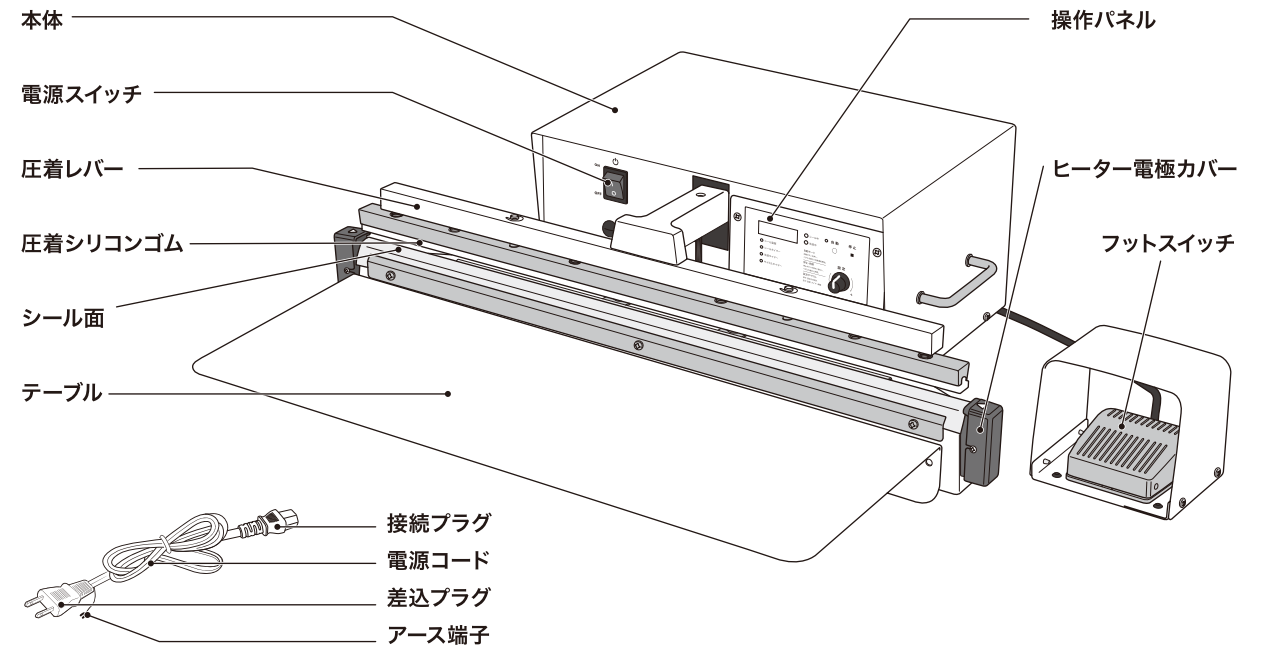
使用するフィルムについて

溶着可能なビニールフィルムの厚さは下記のとおりです。

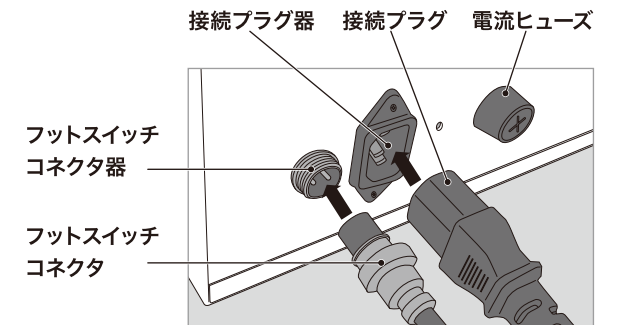
機種名	フィルム	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)
NL-453PA-5			
NL-453PA-10		0.6mm以下	0.4mm以下
NL-603PA-5			

※注意
数値は2枚以上かさね合わせた合計の厚さです。

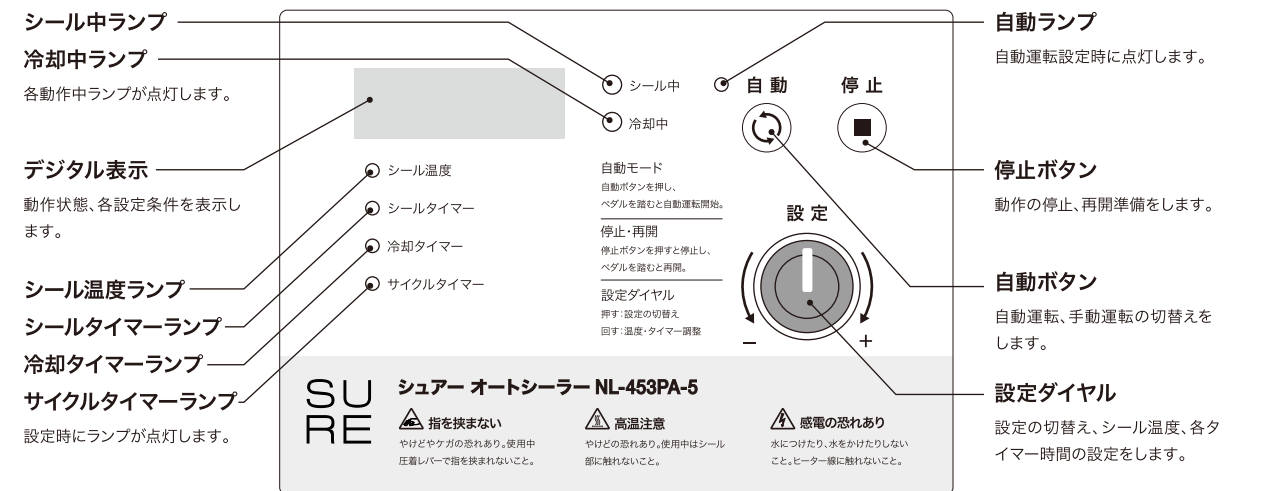
各部の名称



付属品	
	ヒーター 2本
	フッ素樹脂絶縁粘着テープ A: 2枚 / B: 2枚



操作パネルのみかた



ご使用方法

1 準備

01. 本体を安定したテーブルの上などに置く

02. テーブルを取り付ける

本体全面の蝶ネジを外しテーブルを取り付け、外した蝶ネジを取り付けてテーブルを固定します。

03. フットスイッチ保護カバーを取り付ける

フットスイッチに保護カバーをかぶせ、左右を4本のネジで取り付けます。(図1)

04. 接続プラグ、フットスイッチコネクタを取り付ける

本体背面にある接続プラグ器に電源コードの接続プラグを、コネクタ器にフットスイッチコネクタを奥までしっかり差し込みます。

05. 差し込みプラグをコンセントに差し込む

コンセントは、10ページの「仕様」に記載されている電圧、電力が確保できるものを単独で使用してください。
差込プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
アース線は必ずアース端子に接続してください。

06. 電源スイッチをONにする

操作パネルのデジタル表示に"on"と表示されます。(図3)

07. シール温度を設定する

設定ダイヤルを押すとシール温度ランプが点灯し、デジタル表示が温度に変わります。(図4)
設定ダイヤルを回して、シール温度を設定します。
*80~250°Cまで1°C単位で設定できます。

08. シール時間を設定する

シール温度設定の状態設定ダイヤルを押すとシールタイマーランプが点灯し、シール時間が表示されます。(図5)
設定ダイヤルを回して、シール時間を設定します。
*0.3~3.5秒まで、0.1秒単位で設定できます。
*シール時間はシール温度設定値に対し、図6の線より長い時間に設定してください。

09. 冷却時間を設定する

シール時間設定の状態設定ダイヤルを押すと冷却タイマーランプが点灯し、冷却時間が表示されます。(図7)
設定ダイヤルを回して、冷却時間を設定します。
*0.3~7.0秒まで、0.1秒単位で設定できます。
*冷却時間は、シール時間の2倍を目安に設定してください。

図1

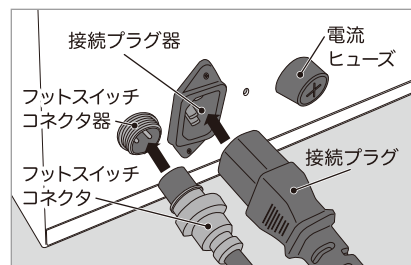
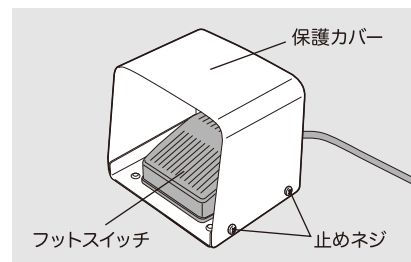


図3



図4



図5



図6

シール温度に対する必要最小シール時間の目安

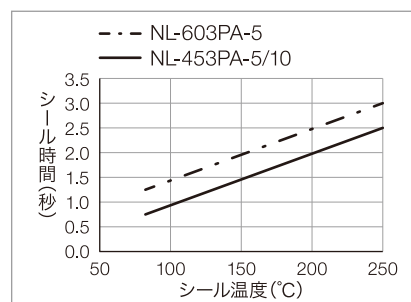


図7



10. サイクル時間を設定する

冷却時間設定の状態設定ダイヤルを押すとサイクルタイマーランプが点灯し、サイクル時間が表示されます。(図8)
*1.0~10.0秒まで、0.1秒単位で設定できます。
*サイクル時間は、自動運転時にシールが終わってから(圧着レバーが上がってから)次のシールを行うまでの時間です。
*シール温度を高め設定して使用する場合は、サイクル時間を長めに設定してください。

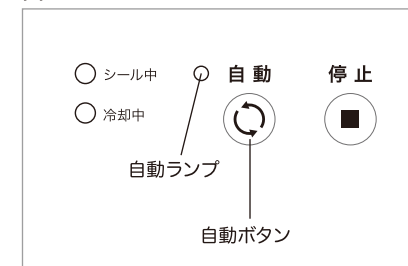
図8



11. 運転モードを確認する

自動ランプが点灯していないことを確認します。(図9)
点灯している場合は自動ボタンを押して、自動運転を解除します。

図9



12. シールテストをする

フィルムのシールする部分がしわにならないように軽く左右に張り、シール面に置きます。フットスイッチを押し、シールをします。

13. シール状態を確認する

シール面が均一に溶着されているかを確認します。
*シール面が溶けすぎたり凹凸になっていた場合は、シール温度を低く、シール時間を長めに調節してください。
*シール面がまばらでシールが弱い場合は、シール温度を高めに、シール時間を長めに調節してください。

2 作業

01. 手動運転、自動運転を選択する

自動ボタンを押して自動運転/手動運転を選択します。
自動ランプが点灯すると自動運転、もう一度ボタンを押してランプが消灯すると手動運転です。
手動運転 1回ごとに、フットスイッチを押してシールします。**自動運転** 連続して自動でシールをします。
*サイクル時間は無効となります。

02. シールを開始する

フットスイッチを押してシール作業を開始します。
手動運転 シール→冷却→スタンバイ(表示: on) **自動運転** シール→冷却→スタンバイ(表示: ----)→シール
*自動運転の場合、設定したサイクル時間が経過すると、再び圧着レバーが下りてきますので、指など挟まらないように注意してください。

03. 作業を停止する

シール中に作業を停止する場合や、自動運転を停止する場合は停止ボタンを押すと、表示が「Stop」になり、動作を停止します。もう一度停止ボタンを押すと表示が「on」になり、動作準備状態に戻ります。

3 使用後

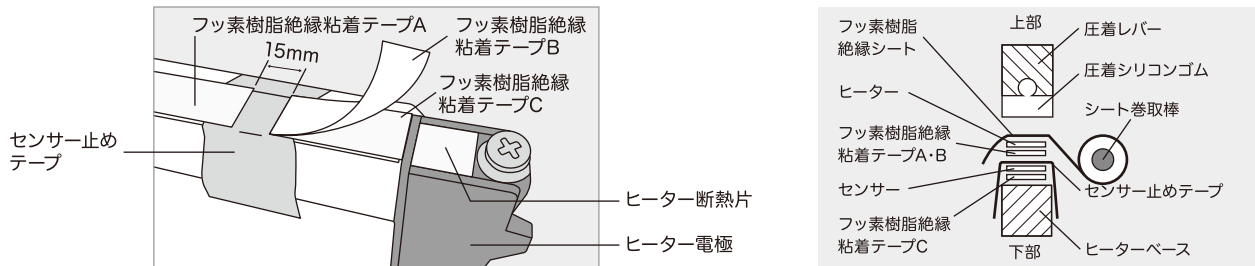
01. 電源スイッチをOFFにして、差込プラグをコンセントから抜く

*シール面が汚れている場合は、シール面が冷めているのを確認してから布などで汚れを拭き取ってください。
*再度使用する場合、設定値は前回終了時に設定した値となります。

保守点検

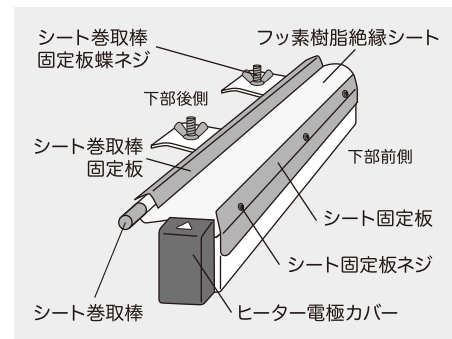
■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

消耗品交換は、フッ素樹脂絶縁シート、ヒーター、フッ素樹脂絶縁粘着テープA、B、圧着シリコンゴムとなります。
その他の部品の交換を希望される場合は、お買い上げになった販売店、またはお客様ご相談センターへご連絡ください。



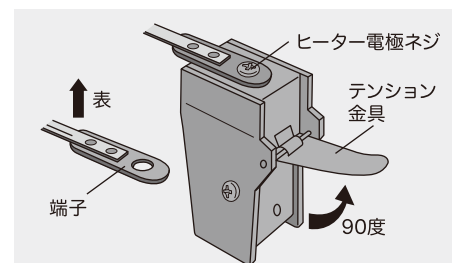
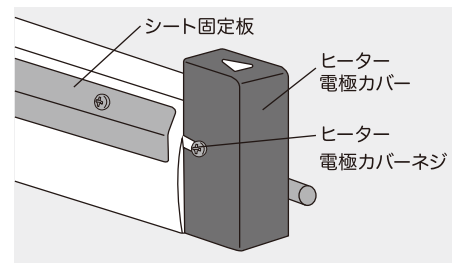
フッ素樹脂絶縁シートの交換 キズ、破れ、焦げ、波打ちなどの症状がでたら、シートを交換してください。

01. テーブルを本体から外します。
02. シート固定板ネジを緩め、フッ素樹脂絶縁シートをシート固定板から外します。
03. シート巻取棒固定蝶ネジを緩め、シートを手前に引出し、劣化したシートを切り捨てます。
04. 引き出したシートをシート固定板に挟み、シート固定ネジを締めます。
05. シート巻取棒固定蝶ネジを締めます。
*フッ素樹脂絶縁シートが無くなったら、別売品シートをシート巻取棒に巻き付け、使用してください。



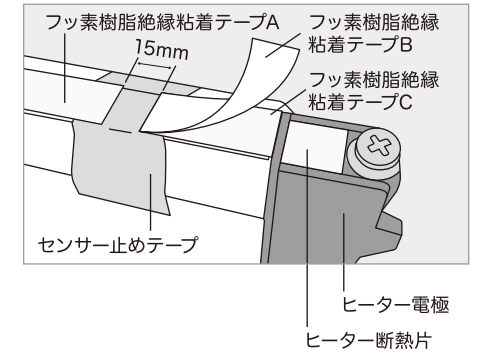
ヒーター交換 断線、凹凸や波打ちなどの症状がでたら交換してください。

01. フッ素樹脂絶縁シートを外します。
02. 左右のヒーター電極カバーネジ(前後)を緩め、ヒーター電極カバーを外します。
03. 左右のテンション金具を90度に起こし、ヒーター電極ネジを外してヒーターを取り除きます。
04. 新しいヒーターをヒーター電極ネジで左右とも軽く取り付け、テンション金具を下ろし、ヒーターがねじれていないことを確認してからネジを締めて固定します。
*ヒーターは表裏があります。端子面が下になるように取り付けてください。
05. 電極カバーをネジで固定し、フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。



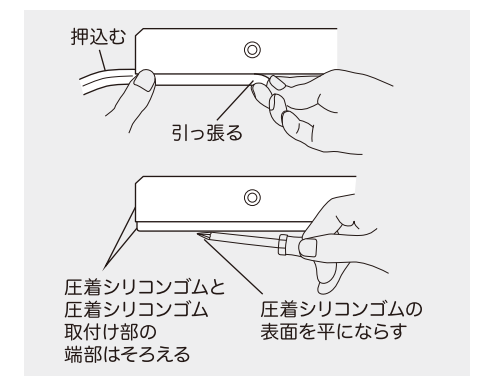
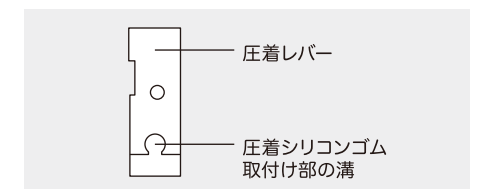
フッ素樹脂絶縁粘着テープA,Bの交換 キズ、破れ、焦げ、波打ちなどの症状がでたら交換してください。

01. フッ素樹脂絶縁シートとヒーターを外します。
02. フッ素樹脂絶縁粘着テープA,Bを剥がし取ります。
*センサー止めテープを剥がさないように注意してください。
*ヒーター断熱片が外れる場合がありますので、失くさないよう注意してください。
03. 新しいフッ素樹脂絶縁粘着テープA,Bを貼り付けます。
*ヒーター断熱片の上まで貼るようにしてください。
*A,Bは、右図のようにセンサー止めテープの上に、A,B間が15mm程度離れるように貼ってください。
*テープがしわにならないように注意してください。
04. ヒーターとフッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。



圧着シリコンゴムの交換 表面が黒く変色する、凹凸になる、亀裂が入るなどの症状が出たら交換してください。

01. 圧着シリコンゴムを取り外します。
02. 圧着シリコンゴムを圧着レバーの圧着シリコンゴム取付け部の溝に少し押し込みます。
03. 圧着シリコンゴムの端を圧着レバーから指でつまめる程度めくり上げてつまみ、そのままもう一方の端まで引っ張ります。
04. 圧着シリコンゴムの表面をドライバーの軸部などの丸棒で力を入れて、左右に動かし、表面を平らにします。
*圧着シリコンゴムの両端が圧着シリコン取付け部の両端部と同じ位置になるように注意してください。



故障かな?と思ったら

電源コードを確認後、コンセントに差し込み下記の状態を確認してください。
 部品交換を行うときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

調べる ところ	点灯しない 電源ランプが	表示しない デジタル表示が	設定できない 温度・タイマーが	圧着レバーが下 らない・上がらない	熱くならない ヒーターが	断線しやすい ヒーターが	シールがきれいに できない	原因・処置
差し込みプラグ/ 接続プラグ	●							プラグの根本を確認し、異常がある場合はお客様 相談センターへご連絡ください。
電源コード	●							断線の場合は修理に出してください。
電流ヒューズ	●							修理に出してください。
操作パネル		●	●					修理に出してください。
フットスイッチ				●				修理に出してください。
ヒーター					●	●	●	断線していないか、ヒーター電極固定ネジが締まっ ているかを確認してください。
ヒーター電極					●			ヒーター電極ネジが締まっているかを確認してくだ さい。
圧着シリコン ゴム						●	●	焦げて固くなっていたり、キズ、へこみがあれば交換 してください。
フッ素樹脂 絶縁粘着テープ						●	●	汚れ、破れ、変色があれば交換してください。
フッ素樹脂 絶縁シート						●	●	汚れ、破れ、変色があれば交換してください。
作業状態					●	●	●	フィルムの材質、厚さに合わせて、シール温度、シール 時間、冷却時間を調節してください。

下記が表示されたら、機器の故障です。修理に出してください。



センサーの故障です。



異常温度を検知した状態
です。



圧着レバーが正常に動作し
ていない状態です。



加熱されていない状態です。

仕様

型番	NL-453PA-5	NL-453PA-10	NL-603PA-5
定格	100V-1200W 50/60Hz	100V-1450W 50/60Hz	100V-1450W 50/60Hz
シール寸法	幅5×長さ450mm	幅10×長さ450mm	幅5×長さ600mm
溶着部温度	80~250°C		
設定 時間	シール	0.3~3.5秒(0.1秒単位)	
	冷却	0.3~7.0秒(0.1秒単位)	
	サイクル	1.0~10.0秒(0.1秒単位)	
製品寸法(約)	520×360×195mm	520×360×195mm	670×360×195mm
質量(約)	20kg	23kg	24kg
付属品	フットスイッチ 1個 テーブル 1枚 電源コード 1本 ヒーター 2本 フッ素樹脂絶縁粘着テープA,B 各2枚		

※本書に掲載のイラストと実際の製品には若干の相違がありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

- 使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントから引き抜いて、使用を中止し、速やかにお求め
になった販売店またはお客様ご相談センターへご連絡ください。
ご連絡されるときは、お買い上げの時期および器具の型番をお知らせください。
- 補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。
注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

■ 交換用サプライ品

商品名	対応機種	NL-453PA-5	NL-453PA-10	NL-603PA-5
ヒーター(5本入)		NPH-453P-5	NPH-453P-10	NPH-603P-5
フッ素樹脂絶縁粘着テープ (A,B各5枚入)		NPN-453A		NPN-603A
フッ素樹脂絶縁シート(1枚入)		NPT-453P/S		NPT-603P
圧着シリコンゴム(1本入)		NPG-453P/S		NPG-603P

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9 受付時間:月~金の9時~12時/13時~17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く
TEL: 048-931-3110	